

ゆうだい21栽培管理情報 第4号

令和5年8月
富山市農業協同組合
富山農林振興センター

生育調査ほの出穂期は、近年より4日早い7月30日となりました。出穂期以降も高温で推移していることから、成熟期は早まる見込みです。コシヒカリ等の中生品種の黄化状況も確認し、計画的に収穫作業を行えるよう準備しましょう。

<今後の管理のポイント>

- 収穫直前まで適切な水管理を実施するとともに、籾黄化率90%からの刈取り開始、適切な乾燥・調製により高品質な「ゆうだい21」に仕上げましょう
- 適期刈取りに備え、早めに刈取・乾燥調製の準備を行いましょ

1 刈取りまでの水管理

- (1) 刈取りの5～7日前までは間断かん水により、適正な土壤水分を確保し、最後まで稲体の活力維持に努めましょう。
- (2) フェーン等の高温が予想される時は、刈取り直前でも事前に入水しましょう。

収穫前にクサネムを抜き取り、異物混入を防ぎましょう



クサネムと種子

2 適期刈取りの実施

- (1) ほ場ごとに籾の黄化状況を必ず確認しましょう。
- (2) 今後も高温で経過すると、刈遅れによる胴割米の発生が懸念されます。籾黄化率90%から刈り始め、適期内に刈取りを終えましょう。

表 出穂期からみた刈取時期の目安

出穂期	刈取り始め (籾黄化率 90%)
7月30日頃	9月11日頃



3 適切な乾燥調製

- (1) 玄米水分14.5～15.0%に仕上げましょう。
(毎時乾減率0.8%以下での乾燥とし、手動水分計でこまめに測定して仕上げましょう)
- (2) 1.8mmのふるい目による選別を徹底しましょう。

<秋の農作業安全運動実施中(8月20日～10月20日)>

○ コンバイン使用時の注意事項

- ・ 衣類が巻き込まれないよう、袖口や裾が締まった服装を着用する
- ・ 詰まったワラを取り除く時は、必ずエンジンを切る
- ・ 後進時には、補助者による誘導や確認を行う

○ 熱中症や用水転落事故に注意しましょう。

